

平成 30 年度全学 FD 委員会プログラムワーキンググループ活動計画  
 —FD 推進センター基本計画のプログラムワーキンググループ活動計画への反映—

FD 推進センター基本計画	中期計画（平成 30 年度～平成 32 年度）	
平成 30 年度 プログラム ワーキンググループ活動計画	②質保証体制の充実と日本大学教育憲章を捉えた FD 活動の各学部等への浸透策の展開 －ワークショップ等浸透に関わるプログラムの充実と改善－	中期計画①, ③及び他ワーキンググループとの連携
全学 FD ワークショップの企画・開催	①全学 FD ワークショップ参加者増加を図ると共に, タスクフォース養成に関する企画の確立。これに伴う全学 FD ワークショップ用資料等の改良 ②全学 FD ワークショップ@キャンパスの参加学部の拡大, @キャンパス用ビデオ・資料の充実並びに@キャンパス用テーマの選定方法の確立 全学 FD (今後の展開・資料) @キャンパス (ビデオ・JPF 資料)	全学 FD ワークショップを中心として, 他の活動 (学生 FD CHAmiT, 新任教員対象 FD プログラムなど) との連携を実施し, 他ワーキンググループとその分析及び学内外への情報発信について連携する。
日本大学学生 FD CHAmiT 2018 の企画・開催	プログラムの継続的な改善 プロダクト活用方法の検討 部科校における学生 FD 活動の促進	プロダクトの発信 (TG, LG 等) (教育情報マネジメント WG)
新任教員を対象とした FD プログラムの検討及び企画・開催	プログラムの継続的な改善 シラバス作成を支援するためのオンデマンドビデオの活用 新任教員のフォローアンケートの実施 「自主創造の基礎 1・2」の全学共通授業の実施方法の共有化	FD ワークショップ@キャンパス, ワールド・カフェ, 学生 FD CHAmiT との連携
全国私立大学 FD 連携フォーラム (JPF 資料)・実践的 FD プログラムの活用の検討	各プログラムでの活用の検討	ティーチングガイドへカリキュラムマップを掲載 (教育情報マネジメント WG)
全学 FD シンポジウムの企画・開催に向けた検討	調査分析 WG からの調査に基づく内容の企画 各部科校へ IR 活動を普及させるために, 引き続き「IR シンポジウム」開催を検討する。IR 活動と SD 活動を組み合わせたシンポジウムの企画	保証体制充実のリーサーチ 特に業績評価・ティーチング ポートフォリオ (調査・分析 WG)

<p>中期計画①, ③及び他ワーキンググループとの連携</p>	<p>教育業績評価・ポートフォリオ等の在り方に関する調査および実施計画案が提案された場合、周知活動及びワークショップへの取り込みを検討して FD を通した活性につなげる。プログラムにおけるプロダクトの中から FD ガイドブック等への活字化が適する内容を選択し情報発信に努める。</p> <p>各 WG との連携：PDCA を勘案し、プログラムワーキンググループは既存・新規事業（プログラム：P）の検討にあたり調査・分析 WG からの調査に基づく提案を検証し・実施の可能性を検討する。またプログラム実施のチェック（C）および改善・改廃を検討する（A）。教育情報マネジメント WG は全プログラムで得られた結果について教育改善につながるツールや情報の提案・提供を行う。</p>
---------------------------------	--

【中期計画（平成 30 年度～平成 32 年度）参考】

- ① 保証体制の充実に資する本学 FD の在り方の調査と方針の明確化：マクロ・ミドル・ミクロそれぞれの観点から補完する諸方策等の検討
  - －教育業績評価・ポートフォリオ等の在り方－
- ③ 質保証体制を踏まえて実施される FD の成果とその充実に支援する情報の収集と発信及び教育ツールの開発と充実
  - －FD ガイドブックの充実・新規教育ツールの開発－